

アブラハムの信仰 (11)

「アブラハムの婚活」

(竿代 皓子 牧師)

【聖書のみことば】 創世記 24 章 1-9 節

1 アブラハムは年を重ねて、老人になっていた。主は、あらゆる面でアブラハムを祝福しておられた。2 そのころ、アブラハムは、自分の全財産を管理している家の最年長のしもべに、こう言った。「あなたの手を私のももの下に入れてくれ。3 私はあなたに、天の神、地の神である主にかけて誓わせる。私がいっしょに住んでいるカナン人の娘の中から、私の息子の妻をめぐってはならない。4 あなたは私の生まれ故郷に行き、私の息子イサクのために妻を迎えなさい。」5 しもべは彼に言った。「もしかして、その女の人が、私についてこの国へ来ようとしめない場合、お子を、あなたの出身地へ連れ戻さなければなりませんか。」6 アブラハムは彼に言った。「私の息子をあそこへ連れ帰らないように気をつけなさい。7 私を、私の父の家、私の生まれ故郷から連れ出し、私に誓って、『あなたの子孫にこの地を与える』と約束して仰せられた天の神、主は、御使いをあなたの前に遣わされる。あなたは、あそこで私の息子のために妻を迎えなさい。8 もし、その女があなたについて来ようとしめないなら、あなたはこの私との誓いから解かれる。ただし、私の息子をあそこへ連れ帰ってはならない。」9 それでもしもべは、その手を主人であるアブラハムのももの下に入れ、このことについて彼に誓った。